



物流における取り組み

富士通グループでは、物流のあらゆる工程で独自の技術と工夫により環境負荷を低減しています。

製品をお客さまにお届けする物流にも、環境への影響を改善する多様な可能性があります。製品や部材、リサイクル品などの物流を担当する富士通ロジスティクスでは、製品の包装設計から保管・輸送にいたる一連の物流工程から発生する環境負荷を低減するさまざまな施策を展開中です。富士通グループは、これからも企業活動のあらゆる分野で環境への取り組みを続けてまいります。

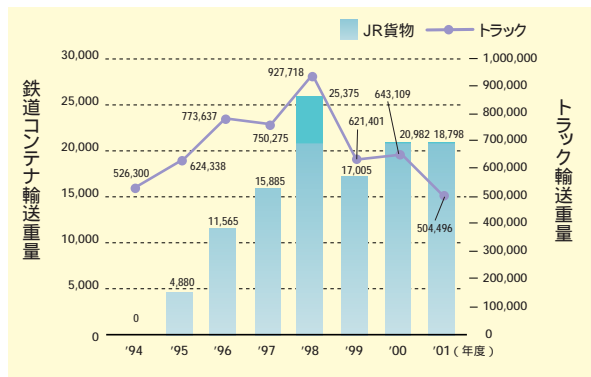
主な環境政策と推進状況

モーダルシフト*1の推進

輸送工程で発生するCO₂、窒素酸化物や硫酸酸化物の排出を削減するため、1995年以降、トラック中心の輸送体制から鉄道輸送を組み合わせたモーダルシフトを積極的に推進しています。

輸送製品重量の推移

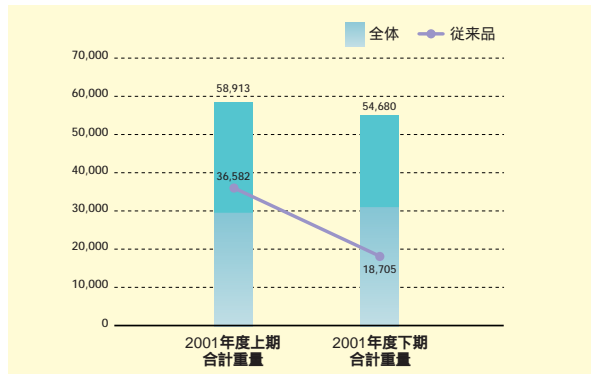
(単位:トン)



ストレッチフィルム使用量の削減

富士通ロジスティクス東京物流センターでは、環境マネジメントシステム活動として、製品輸送時の荷崩れ防止に使用しているストレッチフィルムの使用量削減に取り組んでいます。従来使用していた厚手のフィルムから、環境対応タイプの薄手のフィルムへ切替を実施。また、特定配送拠点間の製品輸送には、リターン可能なバンドやベルトタイプのもを採用し、購入量の削減へ成果を上げています。

ストレッチフィルム従来品購入量の推移(重量換算) (単位:kg)



新しい取り組み

紙製パレットによる木材使用量の削減

森林資源の保護および木材消毒(くん蒸)処理規制の強化へ対応するため、ハードディスクドライブ・パソコンなどの輸出用パレットを木製からリサイクル可能な紙製へ切り替えています。

[特徴]

- パレット素材にリサイクルが可能な耐水強化段ボールとして開発された最新素材を使用
- 段ボールの原紙には古紙(53.4%)を使用
- くん蒸処理が不要(欧州でも木製梱包材の検査強化に対応)
- パレット重量の軽量化(木製パレットに比べ11~12kg軽量化)



紙製パレット

落下試験シミュレーション技術の開発

モバイルパソコンなどの輸送用包装材には、従来からリサイクルが容易で環境負荷の少ない紙系緩衝材の適用を拡大しています。その一環として、落下試験結果と比較して、誤差10%以内の高精度な段ボールによる包装構造シミュレーション技術を確立しました。これにより、紙系緩衝材の緩衝性能確保および構造設計が容易になり、紙系緩衝材の一層の適用拡大がはかれます。

